

■第2回利根町総合振興計画審議会におけるご意見とその対応

参考資料3

《アンケート調査項目に関する内容》

ID	該当項目	ご意見内容・修正理由(第2回審議会)	対応内容
1	鏡文	「答えられない場合は、ご家族の方がお答えください。」の表現を「記入が困難な場合は、ご家族の方が聞き取るすなどしてお答えください。」と修正してはどうか。	より丁寧な表現とすることも大事であることからご指摘いただいた内容を踏まえて修正させていただきました。
2	全体	アンケート調査対象は、アンケート概要に記載されている「15歳以上」と調査票に記載されている「16歳以上」のどちらか正しいのか。	本調査は、前回調査と同様の抽出条件により実施することから、抽出条件を「満16歳以上の方」とさせていただきます。
3	問3	前調査では、もえぎ野台地区が町目により学校区が異なっていたため、選択肢を分けていたが学校が統合されたため選択肢を分ける必要はなくなった。	選択肢の「2. もえぎ野台地区1～5丁目」と「8. もえぎ野台地区3～5丁目」を統合し修正しました。「7. 布川地区(4, 5, 6以外)」の大字・小字名に、「八幡台」と「三番割」を含めました。
4	問3	※の個所 地区名7の大字・小字名の欄に「八幡台」が漏れているのでは？	
5	問3	大字・小字名で「三番割」と「八幡台」が抜けているのではないか。	
6	問4	選択肢5その他の内容を聞く必要は無いか	町民の多様な意見を把握するため、自由記述が出来るような様式に修正させていただきました。
7	問7	問7について ・「生まれてからずっと」の選択肢が他の選択肢と重複する場合がある(例. 利根町で生まれ育って40年になる人が「30年以上」の選択肢にも該当してしまい、2項目の該当となる)ため、質問を以下のように2段階に分けたらどうか。 【質問項目例】 質問1 あなたは、利根町にずっと住んでいますか、転入して来られましたか。 ①生まれてからずっと住んでいる ②別の市町村から転入してきた 質問2 質問1で「別の市町村から転入してきた」と回答した方にお聞きます。あなたは、利根町に住んで、何年になりますか。 ①……	回答しやすさを考慮する必要があることから、ご指摘の内容を踏まえて修正させていただきました。
8	問9	問9 不安といえば「家計の経済面に不安がある」を感じる人が多い気がする。その他、公共交通に関する質問がいくつかあるが、ルートや便数なのか、運賃なのかの特定が重要である。	公共交通に関しては、本調査と別に行う公共交通に関するアンケート調査で詳細に把握する予定です。総括的な中で公共交通の有用性を把握する設問として設計しているため修正はしないことといたしました。
9	問9・13・14	複数回答の際の選択肢の数を統一した方が回答者にとってわかりやすく誤回答が減ると思われる。	回答する際の選択数を「2つ」から「3つ」に変更し統一いたしました。

ID	該当項目	ご意見内容・修正理由(第2回審議会)	対応内容
10	問15	満足度と重要度を区割する縦実線を太目の実線にしては、いかがでしょうか。	回答しやすさを考慮する必要があり、ご指摘の内容を踏まえて修正させていただきました。
11	問15	境目の線種を同じではなくて、二重線か太線とかに変えた方が見やすいのでは？	選択肢の表現として、よりわかりやすさを考慮する必要があり、ご指摘の内容を踏まえて修正させていただきました。
12	問16	設問15 町での生活における幸福度 (1)全国の自治体との相対比較について 1～5の問いが幸福度分析材料として適切なのか少し疑問を持ちました。他自治体と比較するオースドックスな手法があるのでしたら教えて下さい。幸福度ランキング第何位といった順位比較ではないと推測しますが、茨城県独自の幸福度分析手法もあるので、どうやって比較するのが理解できません。 利根町の政策への反映効果を生み出すことがこの後期計画策定の目的であるでしょうから、住民の感覚測定のみではなく、住民の幸福度にどういった特徴があるのかといった手がかりを掴める、また、比較手法が生きるための問いである必要があると思います。 (2)他の設問とのクロス分析について この設問と他の設問(住民の属性、生活満足度など)をクロス分析すれば、住民の幸福感の特徴がつかめ、事業の重要度と満足度の散布図との関連も分析できると思います。生活環境政策への反映とつながるので是非分析してください。 追記:参考文献は下記です。 都市社会研究 2023 『社会調査は自治体計画とどうともあり得るか』平井太郎 弘前大学大学院 https://www.jstage.jst.go.jp/article/juss/15/0/15_35/_pdf/-char/ja	本設問は、政府が進める「デジタル田園都市国家構想」において、地域の幸福感を測定するための指標として活用する地域幸福度(Well-Being) 指標の設問であり、全国値との比較も考慮した設問設定です。そのため、今回は修正いたしませんでした。(地域幸福度(Well-Being) 指標の詳細は、デジタル庁地域幸福度(Well-Being)指標 のサイト https://www.sci-japan.or.jp/LWCI/index.html をご覧ください。) なお、茨城県独自の「いばらき幸福度指標」は、主に政府統計などに基づく客観的指標を中心に構成しているものです。したがって、今回は、政府の進めている地域の幸福感を測定する項目を活用した設問としました。
13	問18	12「野生生物や希少な動植物」を「野生生物や希少な動植物の保護」としては、いかがでしょうか。	選択肢の表現として、よりわかりやすさを考慮する必要があり、ご指摘の内容を踏まえて修正させていただきました。
14	問18	町で取り組む施策内容に合わせた表現に修正していただきたい。	ご指摘の内容を踏まえて以下の通りに修正させていただきました。 1. 温室効果ガスの排出に伴う異常気象などの地球温暖化⇒1. 省エネルギーなどの地球温暖化対策 2. 酸性雨による河川や湖沼、土壌の酸性化に伴う生態系への悪影響⇒河川等の水質改善 3. プラスチックゴミや排水に伴う海洋の汚染⇒まちの緑化保全 4. 都市開発や木々の伐採による森林の減少⇒まちの景観保全 5. 光化学スモッグや工場・自動車の排気ガスによる大気汚染⇒太陽光などの再生エネルギーの活用推進 8. 不法投棄など廃棄物の不適正処理⇒8. 有害な化学物質による環境汚染 9. 廃棄物の最終処分場のひっ迫⇒9. 環境教育・学習の推進 10. ダイオキシンなどの有害な化学物質による環境汚染⇒10. 動植物の保全と生き物の住める環境づくり 12. 野生生物や希少な動植物⇒野生生物や希少な動植物の保護と生き物の住める環境づくり

ID	該当項目	ご意見内容・修正理由(第2回審議会)	対応内容
15	問19	○子ども食堂やヤングケアラーなどの課題に対する子どもへの福祉の充実 8 心に障害を抱えた人・その家族への相談・支援の充実(近隣住民とのトラブル解消)	現在、直面する社会的な課題と考えるため選択肢の一つとして追加させていただきました。
16	問20	○不登校児童生徒の居場所についての充実と関係機関との連携の推進 ○各校の学校図書館の町図書館との更なる連携と図書の充実 ○教職員の悩み相談のための相談室の設置・充実と相談員の設置	「○不登校児童生徒の居場所についての充実と関係機関との連携の推進」に関しては、選択肢6も含めて表現を修正と合わせて新たに選択肢を追加させていただきました。 「○各校の学校図書館の町図書館との更なる連携と図書の充実」については、新たに項目を追加させていただきました。 「○教職員の悩み相談のための相談室の設置・充実と相談員の設置」については、新たに項目を追加させていただきました。
17	問21	○子育てワンポイント配布・配信や家庭教育学級の充実	「○子育てワンポイント配布・配信や家庭教育学級の充実」に関しては、選択肢8を指摘された内容を踏まえた表現に修正させていただきました。
18	問23	○町民・地域住民自身が、町・地域を支えていこうとするようより一層啓発に努める	「町・地域を支えるために町民の主体的な活動の啓発に努める」という選択肢を新たに追加いたしました。
20	問24	計画策定方針の計画策定の趣旨の中に「国の総合戦略の改定内容を踏まえ、デジタルの力を活用した具体的な地方活性化の取り組むべき施策を盛り込むものとする」とあることから問23になっているが住民のインターネット等の利用状況についてもアンケート調査を行った方が良いのではないかな？	ご指摘いただいたとおり町民のデジタルの利用状況について把握する必要があると考えております。回答率向上に向けた回答者の負担軽減のため、多くの設問を追加することは難しいことから、前計画の策定時の町民アンケートで調査した「町政に関する情報の入手方法」に関する設問を追加いたしました。
21	全体	文言の表現を全体的に精査	設問や選択肢等に関して、全体的に用語の統一や言い回しの修正等を行いました。

《アンケート調査の集計及び分析に関する内容》

ID	該当項目	ご意見内容・修正理由	対応内容
1	鏡文	(2)他の設問とのクロス分析について この設問と他の設問(住民の属性、生活満足度など)をクロス分析すれば、住民の幸福感の特徴がつかめ、事業の重要度と満足度の散布図との関連も分析できると思います。生活環境政策への反映とつながるので是非分析してください。	○各設問と基本属性(性別・年齢・居住地・家族構成)のクロス集計を行い、特徴的な傾向を示すものについてはコメントにて考察を記述いたしました。 ○住民の幸福度については、茨城県の値と比較を行い利根町の傾向について分析を行いました。 ○事業の満足度と重要度については住民と町内に勤める町外在住者の各々で散布図を作成し、その傾向の違いについて分析を行いました。